

四国財務局における多重債務相談の受付状況について 〈令和3年度〉

四国財務局では、借金を抱えてお悩みの方々からの相談に応じるため、専門相談員2名を配置し、多重債務問題の解決に向けた助言を行うとともに、必要に応じて弁護士や司法書士等の法律専門家へ引き継ぎを行っています。

1. 令和3年度の相談件数は95件。

- 相談件数は、前年度（96件）とほぼ同数でした。

2. 相談者の内訳は、年齢別では中高齢者、職業別では給与所得者が多数。

- 相談者の内訳をみると、「60代以上」が21.1%、「50代」が26.3%、「40代」が16.8%となっており、これらの世代で64%以上を占めています。
- 職業別では、「給与所得者」が61.1%、次いで「無職（年金生活者を含む）」が26.3%と続いています。
- 世帯年収別の構成比についてみると、100万円未満～400万円未満が58.9%と半数以上を占めていますが、400万円以上の世帯も25.3%あり、世帯収入は低くなくとも多重債務に陥っている状況がうかがえます。

3. 借金のきっかけは、「低収入・収入の減少」が約56%。

- 借入金額の内訳をみると、100万円未満～400万円未満が54.7%と半数以上を占めています。
- 借金のきっかけは、「低収入・収入の減少」の割合が55.8%と最も高く、次に「商品・サービス購入」が40.0%、「ギャンブル・遊興費」が23.2%と続いています。

4. 借入れは、クレジットカードのショッピング・キャッシングが約37%。

- 住宅ローンを除く借入れ先は、「クレジットカード」の割合（36.6%）が最も高く、次いで「地銀・都銀」「信金信組等」「ネット銀行」などの金融機関（合計24.4%）が続いています。

5. 無料相談会等の案内のほか、必要に応じて法律専門家へ引き継ぎ。

- 当局相談窓口では、専門相談員が助言を行うほか、「無料相談会等」「法テラス」の案内（合計30.6%）や「弁護士」「司法書士」等の法律専門家への引き継ぎ（合計5.6%）を行いました。

カードローン、クレジットなどの借金問題 ひとりで悩まないで相談してください！

多重債務者相談窓口のご案内（相談無料・秘密厳守）

専用ダイヤル（直通）087-811-7801

香川県高松市サンポート3番33号
高松サンポート合同庁舎南館7階

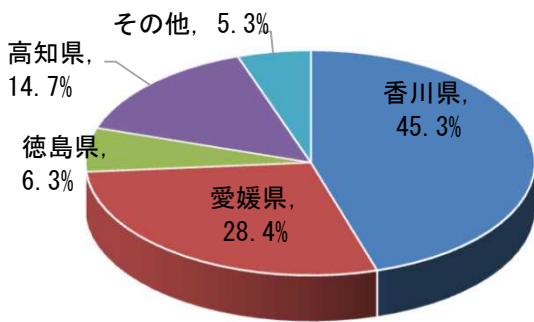
相談受付時間 9時から12時 13時から17時 月曜から金曜（年末年始および祝日を除く）

※ 相談は折り返して伺います。秘密は守られますので、安心してご相談ください。



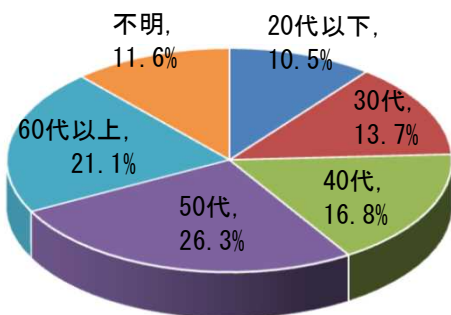
1. 相談者のプロフィール等

(1) 相談者の居住地



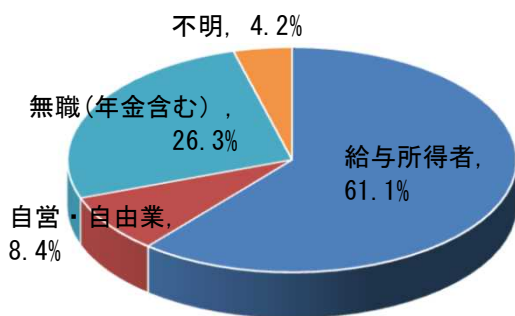
居住地	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
香川県	43	45.3%	48	50.0%	62	50.8%
愛媛県	27	28.4%	36	37.5%	38	31.1%
徳島県	6	6.3%	3	3.1%	9	7.4%
高知県	14	14.7%	8	8.3%	11	9.0%
その他	5	5.3%	1	1.0%	2	1.6%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	95	-	96	-	122	-

(2) 相談者の年齢



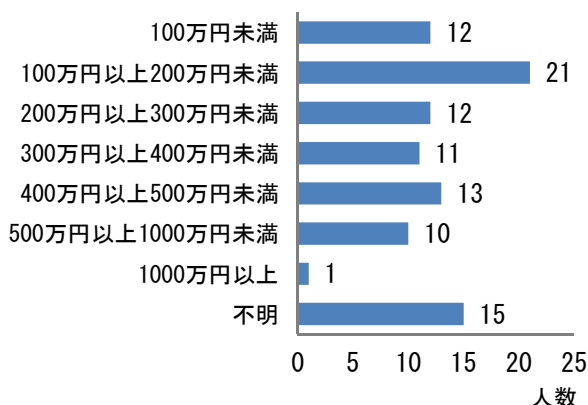
年齢	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
20代以下	10	10.5%	6	6.3%	12	9.8%
30代	13	13.7%	13	13.5%	14	11.5%
40代	16	16.8%	23	24.0%	28	23.0%
50代	25	26.3%	20	20.8%	29	23.8%
60代以上	20	21.1%	30	31.3%	32	26.2%
不明	11	11.6%	4	4.2%	7	5.7%
合計	95	-	96	-	122	-

(3) 相談者の職業



職業	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
給与所得者	58	61.1%	66	68.8%	76	62.3%
自営・自由業	8	8.4%	9	9.4%	14	11.5%
家事従事者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学生	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
無職(年金含む)	25	26.3%	19	19.8%	30	24.6%
不明	4	4.2%	2	2.1%	2	1.6%
合計	95	-	96	-	122	-

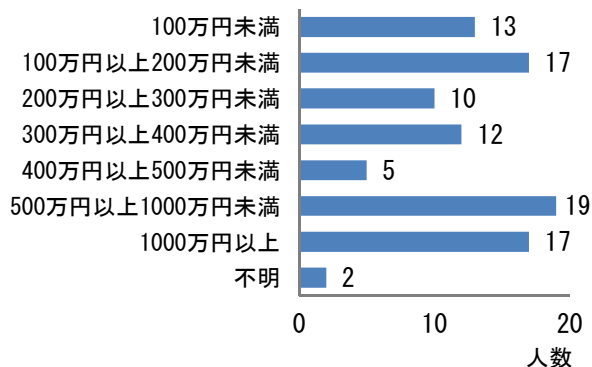
(4) 相談者(世帯)の年収



年収	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
100万円未満	12	12.6%	7	7.3%	10	8.2%
100万円以上200万円未満	21	22.1%	20	20.8%	17	13.9%
200万円以上300万円未満	12	12.6%	25	26.0%	12	9.8%
300万円以上400万円未満	11	11.6%	11	11.5%	18	14.8%
400万円以上500万円未満	13	13.7%	13	13.5%	17	13.9%
500万円以上1000万円未満	10	10.5%	8	8.3%	20	16.4%
1000万円以上	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%
不明	15	15.8%	12	12.5%	28	23.0%
合計	95	-	96	-	122	-

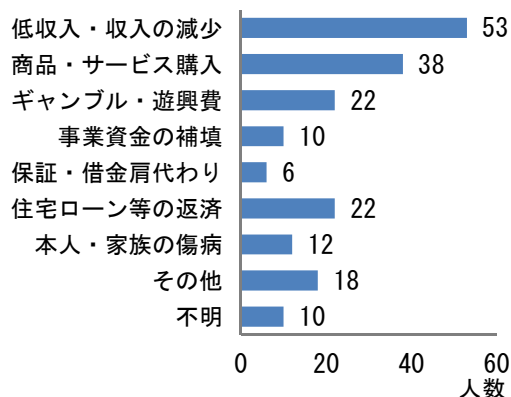
2. 相談内容

(1) 借金の金額



借金の金額	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
100万円未満	13	13.7%	14	14.6%	12	9.8%
100万円以上200万円未満	17	17.9%	13	13.5%	14	11.5%
200万円以上300万円未満	10	10.5%	14	14.6%	21	17.2%
300万円以上400万円未満	12	12.6%	12	12.5%	12	9.8%
400万円以上500万円未満	5	5.3%	5	5.2%	9	7.4%
500万円以上1000万円未満	19	20.0%	10	10.4%	23	18.9%
1000万円以上	17	17.9%	24	25.0%	27	22.1%
不明	2	2.1%	4	4.2%	4	3.3%
合計	95	-	96	-	122	-

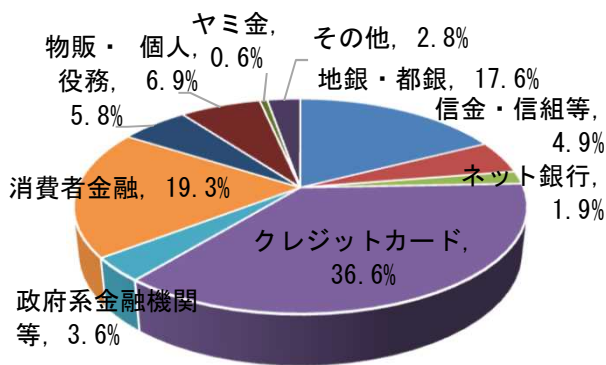
(2) 借入れのきっかけ



借入れのきっかけ	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
低収入・収入の減少	53	55.8%	60	62.5%	78	63.9%
商品・サービス購入	38	40.0%	42	43.8%	35	28.7%
ギャンブル・遊興費	22	23.2%	30	31.3%	24	19.7%
事業資金の補填	10	10.5%	8	8.3%	20	16.4%
保証・借金肩代わり	6	6.3%	10	10.4%	5	4.1%
住宅ローン等の返済	22	23.2%	7	7.3%	5	4.1%
本人・家族の傷病	12	12.6%	11	11.5%	13	10.7%
その他	18	18.9%	22	22.9%	14	11.5%
不明	10	10.5%	2	2.1%	5	4.1%
回答者数計	95	-	96	-	122	-

※複数回答有

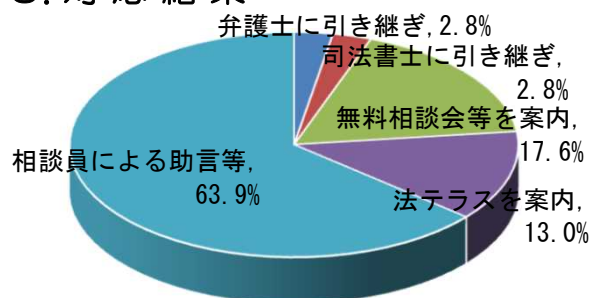
(3) 借入先（住宅ローンを除く個人債務分）



借入先	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	先数	構成比	先数	構成比	先数	構成比
地銀・都銀	82	17.6%	89	18.9%	115	18.4%
信金・信組等	23	4.9%	24	5.1%	34	5.4%
ネット銀行	9	1.9%	18	3.8%	27	4.3%
クレジットカド	171	36.6%	135	28.7%	213	34.1%
政府系金融機関等	17	3.6%	9	1.9%	14	2.2%
消費者金融	90	19.3%	85	18.1%	99	15.9%
物販・役務	27	5.8%	51	10.9%	42	6.7%
個人	32	6.9%	25	5.3%	46	7.4%
ヤミ金	3	0.6%	18	3.8%	16	2.6%
その他	13	2.8%	16	3.4%	18	2.9%
借入先(者)数計	467	-	470	-	624	-

※複数回答有

3. 対応結果



対応結果	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	先数	構成比	先数	構成比	先数	構成比
弁護士に引き継ぎ	3	2.8%	19	17.3%	33	23.9%
司法書士に引き継ぎ	3	2.8%	6	5.5%	2	1.4%
無料相談会等を案内	19	17.6%	10	9.1%	28	20.3%
法テラスを案内	14	13.0%	10	9.1%	7	5.1%
相談員による助言等	69	63.9%	65	59.1%	68	49.3%
紹介先数計	108	-	110	-	138	-

※複数回答有

※各頁の構成比の合計は、四捨五入等のため100%にならない場合があります。

4. 相談・対応事例

◆事例1 ストレスでパチンコに依存し借金に苦しむ男性

(債務者：20代 給与所得者 債務総額215万円)

【相談内容】

職場の人間関係がうまく行かず、転職を繰り返した。そのストレスが原因でパチンコに興じてしまい、給料のほとんどをつぎ込むようになった。それでもパチンコがやめられず、借金をしてまでパチンコに行くようになった。母親に何度も借金を肩代わりしてもらったが、パチンコを断つことができず、とても苦しい。借りたり返したりを繰り返しているのに、元金が減らない。借金は自分で返済したいので、自己破産はしたくない。どうすればいいか教えてほしい。

【相談への対応】

ギャンブルを続けている状態では借金問題は解決できず、依存症の治療も行う必要がある。また、借金を自分で返済していきたいのであれば任意整理という方法があり、当局から法律専門家に引き継ぐことも可能であると伝えたところ、任意整理を希望されたので、司法書士へ引き継ぎを行った。後日、司法書士と相談のうえ任意整理を行うこととなり、見通しが立ったため大変気持ちが楽になったと連絡があり、自らギャンブル依存症の治療にも行かれたとのことであった。

◆事例2 浪費や暗号資産投資により生じた借金に苦しむ女性

(債務者：40代 無職 債務総額780万円)

【相談内容】

普段から収入と支出のバランスを意識せず、衣料品や食費などに浪費してきた。徐々に借金が増えてきたが、上場予定の暗号資産があると聞いたので、これに投資して借金を返済するつもりだった。ところが結局上場せず、投資額も戻ってこなかった。そのため、借金を返すために借金を繰り返し、貯金も底をついて返済ができない。現在は体調を崩してすぐに就職ができる状態ではない。どうすればいいか教えてほしい。

【相談への対応】

暗号資産の取引はリスクが伴う上、不正確な情報もSNSなどで流れているので注意が必要である。相談者の場合、債務額が多く無職のため、自己破産以外に選択肢はないと思われるが、経済的に余裕のない方向けに、法テラスの「民事法律扶助制度」があり、収入、資産等の要件を満たせば、無料の法律相談と弁護士費用の立て替えもしてもらえると説明したところ、当該制度の利用を希望されたので、法テラスの連絡先を案内した。後日、法テラスに相談した結果、弁護士に自己破産を委任することとなり、今後の生活の目途も立ちつつあるとの連絡があった。

◆事例3 精神疾患のある息子が使ったゲーム課金で苦しむ女性

(債務者：60代 パート 債務総額620万円)

【相談内容】

精神疾患を抱えている息子にクレジットカードを渡して、ゲーム課金を容認していた。今はもうゲーム課金はしていないが、ゲーム課金により生じた借金を返すために借金を繰り返したところ、返済額が膨れ上がり、どうにもなくなってしまう。自宅は絶対に手放したくないので、自己破産はしたくない。任意整理という方法を聞いたがどうだろうか。

【相談への対応】

相談者の収入等を考慮すると任意整理は適当でないと思われる。自宅を手放さないで債務整理する方法として個人再生があり、当局から法律専門家に引き継ぐことも可能であると伝えたところ、自身で探した弁護士事務所に個人再生を委任することとなった。